

# TV 報道検証【報道特集】 報告書

テレビ局： TBS	番組名：報道特集	放送日：2020年2月2日
出演者：金平茂紀、日下部正樹、膳場貴子、宇内梨沙		
検証テーマ：イギリスの EU 離脱、オープニング、EU の今後、トランプ氏の弾劾裁判		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イギリスの EU 離脱</li> <li>・オープニング</li> <li>・EU の今後</li> <li>・新型コロナウイルス</li> <li>・福島県で移植用の心臓を運ぶヘリが墜落</li> <li>・北海道と長野で雪崩事故</li> <li>・トランプ氏の弾劾裁判</li> <li>・東京都荒川区で 2 歳女兒が虐待死の疑い</li> <li>・風俗店からみかじめ料を受け取った疑いで暴力団幹部を逮捕</li> <li>・東京足立区で住宅火災</li> <li>・【特集】 封鎖された武漢～帰国までの苦闘</li> <li>・【特集】 アイヌ民族～先住権を求めて</li> <li>・スポーツ報道</li> </ul>		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イギリスの EU 離脱：結論→特に問題なし</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">イギリスの EU 離脱について以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。</p> <p style="margin-left: 20px;">アキバ聖治（報告）「午後 11 時になりました、イギリスが EU を離脱しました。」</p> <p style="margin-left: 20px;">ナレ「日本時間今日午前八時、イギリスは全身を含め 47 年間加盟した EU から正式に離脱を表明しました。離脱の直前まで市民の意見は割れていました。」 "</p> <p style="margin-left: 20px;">"離脱を支持する市民 A「私は嬉しいです。今こそ団結し前進しましょう。」</p> <p style="margin-left: 20px;">残留を支持する市民 B「27 カ国で生活する自由を私たちは完全に失ってしまう。」</p> <p style="margin-left: 20px;">ナレ「夜の集会では残留派がろうそくを灯して離脱を惜しむ、その側で、離脱派が歌で離脱を歓迎しました、割れるイギリスにジョンソン首相は社会の融和を呼びかけました。」</p> <p style="margin-left: 20px;">ジョンソン（イギリス首相）「皆さんに最も伝えるべきはこれは終わりではなく始まりということ。今こそ私たちの偉大な国のドラマの新しい幕が上がる時だ。」 "</p> <p style="margin-left: 20px;">"ナレ「イギリス側からヨーロッパに向け、私たちはまだ EU を愛しているという文字が照らされた一方、ヨーロッパ川のベルギーではイギリス国旗が降ろされました。離脱という歴史的瞬間を EU 加盟国のフランスでも多くの人が見守りました。」</p> <p style="margin-left: 20px;">大八木友之（報告）「ええ、今ついにイギリスが EU を離脱しました。こちらのパブでは EU 離脱を憂う人々が集まっています。」</p> <p style="margin-left: 20px;">フランス人 C「(離脱は) 残念です。イギリスは文化的にも深くヨーロッパに根ざしているのに。」</p>		

フランス人 D「とても悲しいです。でも 10 年後、20 年後にイギリスがまた戻ってくると思います。」  
ナレ「この日、二度の世界大戦の反省からヨーロッパの統合を目指した EU は初めて加盟国を失いました。」  
このトピックに当てられた時間は 135 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・オープニング：結論→特に問題なし

番組の冒頭で金平キャスターが「ええ、イギリスが EU から離脱しました。二度の世界大戦を経ての国境を越えようという統合の動きと真逆に国境を閉ざす自国民中心主義へと変化を遂げているようにも見えます。特集は国境を超えて広がる新型コロナウイルスをめぐる動きです。」とコメントしていた。このシーンに当てられた時間は 20 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・EU の今後：結論→特に問題なし

スタジオでの膳場キャスターの「ではニュースです。離脱という歴史的瞬間を迎えたイギリスと EU ですが、今後どのような問題が予想されるのでしょうか。」と日下部キャスターの「イギリスとフランスから伝えてもらいますけれども、まずはロンドンからアキバ記者です。アキバさん、よろしくおねがいします。」というコメントに続いて以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

アキバ聖治（報告）「はい、EU 非加盟国となったイギリスです、離脱はしましたけれども、様々な課題が残っています、昨夜、政府は官庁街をライトアップしましたけれどもこれは残留派に配慮してかかなりおとなしめでかえって分断の深さを感じました。ライトアップに使われた青白赤はイギリスの 4 つの地方の連合の象徴ですが、国民投票で残留派が圧倒したスコットランドではイングランドのせいで EU から引きずりだされたとの捉え方から再び独立への支持が高まっています。また EU との唯一の陸上の国境を接する北アイルランドは結局、イギリスの他の地域とは関税の扱いが異なることを受け入れざるを得なくなって現地の親イギリス派には不満が残っています。そして何より離脱すれば自分たちの生活が良くなると考えている人たちの期待にどれだけこたえていけるのか、ジョンソン首相の手腕が問われるのはこれからです。」

大八木友之（報告）「はい、こちら EU 側では長かった別れ話が終わって本当にやってきた別れを静かに受け止めているという印象です、離脱の日の新聞には『EU よ、さらば』ですとか、『彼らがないヨーロッパ』といった見出しで EU の外交面、貿易面での影響力が低下すると悲観的に伝えていきます。今後今年末までの移行期間でイギリスとの間に通商協定を結ぶという目の前の課題はありますが EU としては更にもっと大きな分岐点に差し掛かっています。イギリスの抜けた EU27 ヶ国は決して一枚岩ではなく東欧などの国々には今の EU にとどまるメリットをあまり感じていない国もあります。離脱後のイギリスが経済的に発展してしまった場合、自分たちも後を追いたいという国が出る離脱ドミノが起きる可能性もはらんでいます。ヨーロッパとして一体感を示さない限りアメリカや中国とは対峙できません。ジョンソン首相は終わりではなく始まりだと言いましたが、EU にとっては終わりの始まりにならないよう、まさに今そのありかたが問われています。」

このトピックに当てられた時間は 151 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・トランプ氏の弾劾裁判：結論→特に問題なし

日下部キャスターの「アメリカのトランプ大統領の弾劾裁判で野党側が求めてきた新たな証人尋問の実施が与党側の反対多数で否決されました。これにより来週トランプ氏に無罪の評決が出る見通しとなりました。」とのコメントを受けて以下に朱記した VTR が取り上げられた。

"裁判長「賛成 49 反対 51、動議は否決されました。」

ナレ「野党民主党が求めてきた新たな証人尋問をめぐる採決は僅差で否決されました。野党側はボルトン前大統領補佐官の尋問を求め与党側の切り崩しを図ってきましたが実現しませんでした。ボルトン氏はトランプ氏が政敵に対する調査をウクライナ向け軍事支援の前提としていたとされるウクライナ疑惑の核心を知っていると報じられました。これにより裁判はトランプ氏の弾劾に関する採決の手続きに進み、来週与党側の反対で無罪の評決が出る見通しとなりました。」 "

このトピックに当てられた時間は 151 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし

検証者所感

・トランプ氏の弾劾裁判

アメリカ政治についての報道で大統領を出していない政党のことを「野党」と呼んでいるが、アメリカは日本とは異なり大統領を出している政党と議会の多数党は必ずしも一致しない、という点には注意が必要だろう。

・EU の今後

イギリスの EU 離脱についても協定を巡って協議が難航していたが、それでもイギリスは EU のユーロではなくポンドを使っていたということは離脱を行うにあたって離脱派に有利に働いた条件ではなかろうか。そう考えると、独自通貨を放棄してしまった EU 加盟国の離脱というのはイギリスの離脱よりも遥かに高いハードルがあるのではないだろうか。